

KANSAI MASTERS 2025最終のご案内

(2次要項)

2025年 6月 29日(日) インフロニア草津アクアティクスセンター

「KANSAI MASTERS 2025」は 286チーム・921名の参加となりました。多数のお申し込みありがとうございました。

主催者としてスイマーの皆さまが健康で安心して泳げる環境を作ることに全力で取り組めますが、安全な競技会の開催には、選手、チーム責任者、競技役員の皆さまの協力が必要です。ルールへの理解とマナーの厳守をお願いします。

参加されるすべての皆さまが本案内の内容を**必ずご確認ください**のうえ、前向きな姿勢で競技会運営にご協力いただきますようよろしくお願いします。

※ 大会期間中にテクニカルミーティングは実施しませんので、必ず本案内をご確認ください。

※ 高齢者または1名で参加のチームは入場口左側の観客席にプライオリティエリアを設けていますのでそちらをご利用いただけます。

※ 1階プールサイド・更衣室は関係者以外履物禁止です。脱いだ靴はご自身でお持ちください。プールサイドに履物を置いていくことのないようお願いします。

ADカードはチームへまとめて送付となります。

- ① 選手ADカード
- ② 責任者ADカード(6名以上参加チームにはサブ責任者ADカードを同封しております)
- ③ 役員には役員ADカード・役員依頼書
- ④ 介助者ADカード(事前に出場申告用紙での申請者)

1. 大会会場	2
2. 大会日程／競技スケジュール	3
3. 会場案内図	4
4. 主催者からの連絡事項	5
5. ADカード	6
6. 会場入退館	6
7. 競技方法	6
8. ウォーミングアップ	8
9. 招 集	8
10. リレー種目	9
11. 表彰・記録	9
12. 申告／抗議	9
13. 施設使用上の注意	10
14. 健康管理	11
15. その他	12
※ 大会出場にあたっての注意	13

1. 大会会場

「インフロニア草津アクアティクスセンター」(公認 25m × 10レーン)
滋賀県草津市西大路町 13-10

<アクセス>

- ・ JR 琵琶湖線「草津駅」西口より徒歩約 10 分
- ※ 公共交通機関でお越しください。
- ※ 駐車場の数が少ないので近隣に路上駐車をされる方がいらっしゃいます。近隣の方にご迷惑となり今後施設を使用できなくなる場合がありますので、絶対におやめください。
- ※ 草津駅からは、必ず下記図面の赤点線のルートを利用してください。横道や南側の道路を利用されると騒音等で近隣の方へご迷惑をお掛けしますのでおやめください。



スタート&リザルトのご案内

2次要項・スタートリストやランキングは下記 URL・QR コードよりご覧いただけます！



[https://www.tdsystem.co.jp/ProList.php?Y=2025
&M=06&GL=0&G=139](https://www.tdsystem.co.jp/ProList.php?Y=2025&M=06&GL=0&G=139)

2. 大会日程／競技スケジュール

- ※ 開場時は入場口が混み合うことが予想されます。ご自身の出場種目に合わせて来場いただくなど分散入場にご協力をお願いします。
- ※ 入場時に会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので絶対におやめください。
- ※ ご自身の競技終了後、速やかなご退館にご協力をお願いします。
- ※ 競技スケジュールはあくまで予定であり、競技の進行状況により前後します。オンタイム進行を基本としますが、進行が早まった場合 20 分までは繰り上げます。

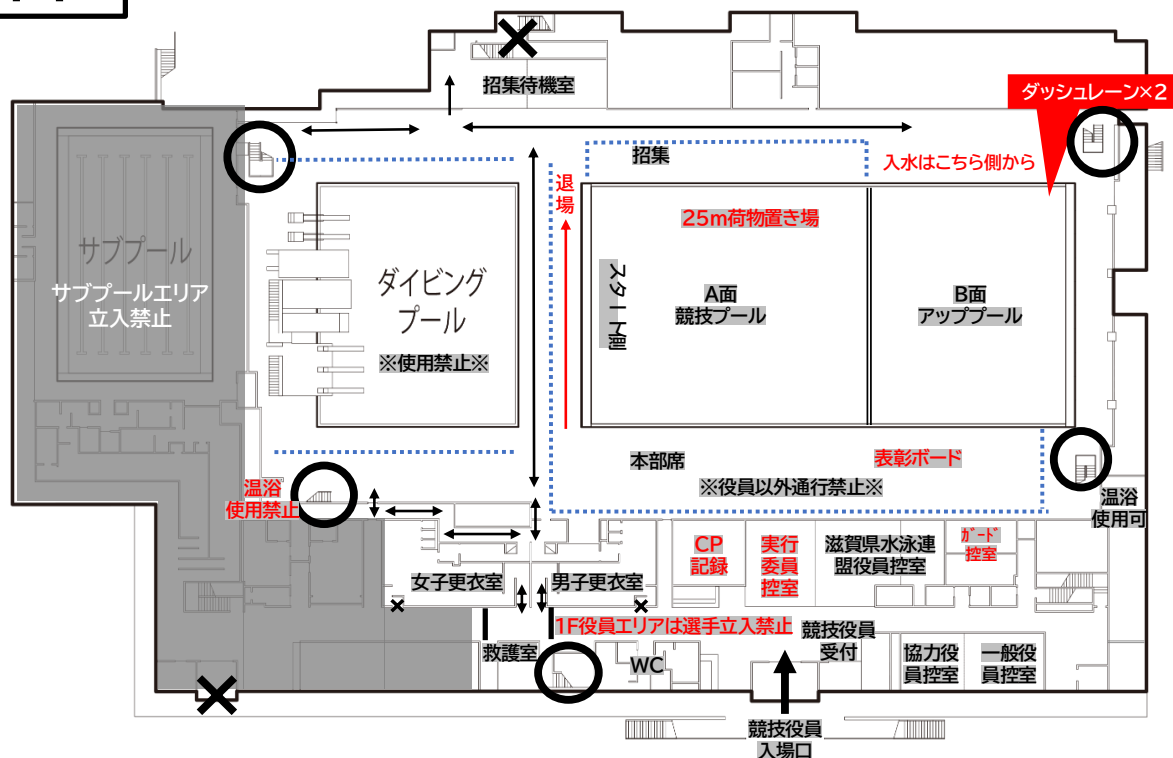
開 場	8 : 00
メインプールアップ	8 : 00 ~ 9 : 15
公式スタート練習	8 : 55 ~ 9 : 15

No	競 技 種 目	予定時刻	No	競 技 種 目	予定時刻
1	女子 200m 個人メドレー	9 : 30	26	女子 50m 自由形	12 : 21
2	男子 200m 個人メドレー	9 : 36	27	男子 50m 自由形	12 : 35
3	女子 4×50m メドレーリレー	9 : 46	28	女子 50m 平泳ぎ	12 : 50
4	男子 4×50m メドレーリレー	9 : 51	29	男子 50m 平泳ぎ	12 : 57
5	混合 4×50m フリーリレー	9 : 57	30	女子 50m バタフライ	13 : 08
6	女子 100m 自由形	10 : 00	31	男子 50m バタフライ	13 : 13
7	男子 100m 自由形	10 : 11	32	女子 50m 背泳ぎ	13 : 20
8	女子 100m 平泳ぎ	10 : 28	33	男子 50m 背泳ぎ	13 : 27
9	男子 100m 平泳ぎ	10 : 34	34	女子 4×50m フリーリレー	13 : 33
10	女子 100m バタフライ	10 : 47	35	男子 4×50m フリーリレー	13 : 35
11	男子 100m バタフライ	10 : 51	36	混合 4×50m メドレーリレー	13 : 41
12	女子 100m 背泳ぎ	10 : 58		表 彰	13 : 47
13	男子 100m 背泳ぎ	11 : 06	37	女子 100m 個人メドレー	13 : 52
14	女子 4×25m フリーリレー	11 : 14	38	男子 100m 個人メドレー	14 : 03
15	男子 4×25m フリーリレー	11 : 20	39	女子 4×200m フリーリレー	14 : 18
16	混合 4×25m メドレーリレー	11 : 23	40	男子 4×200m フリーリレー	(男女合同)
	表 彰	11 : 28	41	女子 4×25m メドレーリレー	14 : 31
17	女子 25m 自由形	11 : 33	42	男子 4×25m メドレーリレー	14 : 36
18	男子 25m 自由形	11 : 39	43	混合 4×25m フリーリレー	14 : 40
19	女子 25m 平泳ぎ	11 : 44	44	女子 200m 自由形	14 : 44
20	男子 25m 平泳ぎ	11 : 48	45	男子 200m 自由形	14 : 57
21	女子 25m バタフライ	11 : 51	46	女子 200m 平泳ぎ	15 : 12
22	男子 25m バタフライ	11 : 56	47	男子 200m 平泳ぎ	15 : 20
23	女子 25m 背泳ぎ	11 : 59	48	女子 200m バタフライ	15 : 32
24	男子 25m 背泳ぎ	12 : 04	49	男子 200m バタフライ	15 : 37
25	混合 4×200m フリーリレー	12 : 06	50	女子 200m 背泳ぎ	15 : 44
			51	男子 200m 背泳ぎ	15 : 54
				競技終了予定時間	16 : 02

リレーオーダー変更届 提出締切時間					
3.4	女男 4×50m メドレーリレー	8:30	34.35	女男 4×50m フリーリレー	12:00
5	混合 4×50m フリーリレー	8:30	36	混合 4×50m メドレーリレー	12:00
14.15	女男 4×25m フリーリレー	9:30	39.40	女男 4×200m フリーリレー	12:30
16	混合 4×25m メドレーリレー	9:30	41.42	女男 4×25m メドレーリレー	13:00
25	混合 4×200m フリーリレー	10:30	43	混合 4×25m フリーリレー	13:00

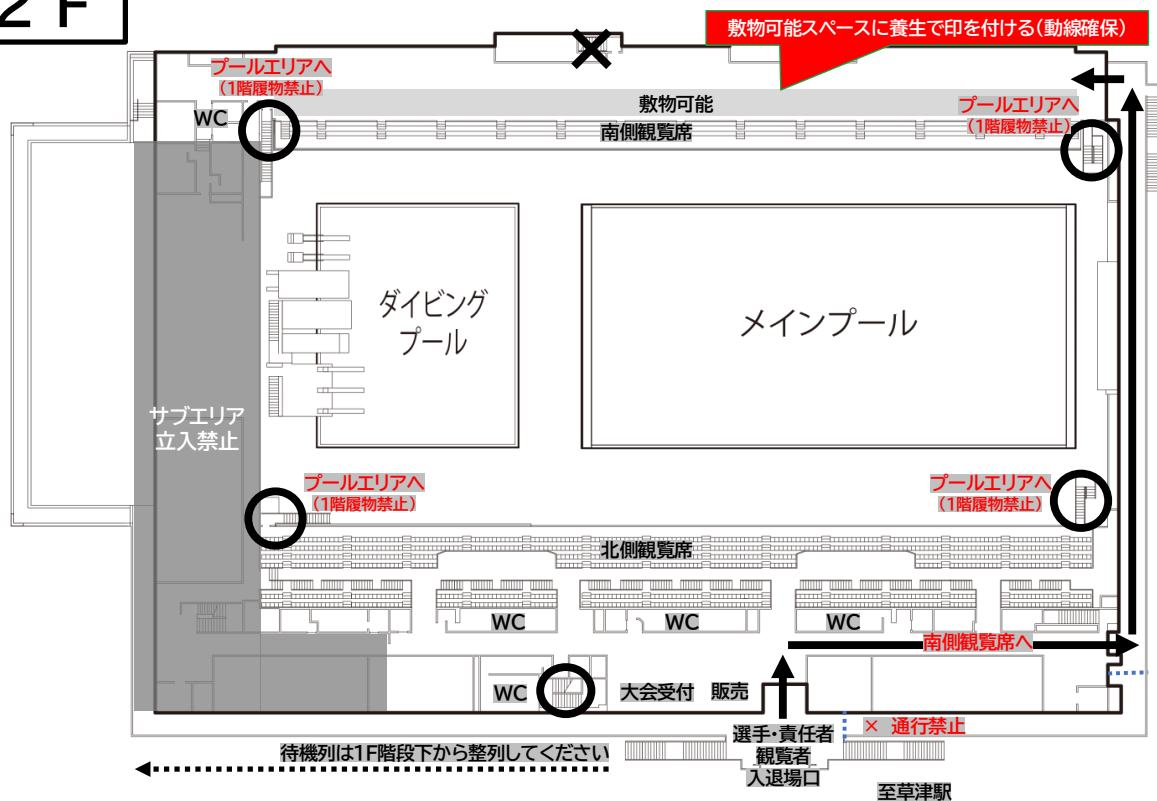
3. 会場案内図

1 F



※ 朝の整列は 7:00～ とします。ご協力よろしくお願いします。近隣のご迷惑にならないようお静かにお願いします。近隣の駐車場台数が少ないため、車での来場は極力おやめください。路上駐車は絶対におやめください。

2 F



主催者からの連絡事項

4. (一社)日本マスタース水泳協会競泳競技規則(抜粋)(カッコ内:競技規則条項)

- (1) 出発について(背泳ぎを除く)
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。(第4条1項)
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。(第4条1項)
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。(第4条1項)
 - d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。(第4条3項)
- (2) 自由形について
競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から15m以内の距離では体が完全に水没してもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。(第5条3項)
- (3) 背泳ぎについて
バックストロークレッジを使用する場合は、両足のつま先の少なくともそれぞれ一本はタッチ板に接していなければならない。(第6条1項)
- (4) 平泳ぎについて
 - a. 両腕の動作は、同時に行われなければならない、交互に動かしてはならない。(第7条2項)
 - b. 両脚の動作は、同時でなければならない、交互に動かしてはならない。(第7条4項)
- (5) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。(第8条3項)
 - b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出ていなければならない。(第8条5項)
- (6) メドレー競技について
個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときはあおむけの状態であってもよいが、うつぶせの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。(第9条1項)
- (7) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。(第10条9項)
- (8) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。(第13条5項)
- (9) 水着の規定について
競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に(一社)日本マスタース水泳協会が公表している水着規定に準じる。(第15条1項)

5. ADカード

- (1) 参加選手は各チームへ送付するADカード（1 人 1 枚）を必ずお受け取りください。チーム責任者は必ず各選手にお渡しください。
ADカードは「KANSAI MASTERS 2025」の参加選手であることを証明する大切なものです。入場、参加賞受け取り、招集受付、賞状受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、**必ず持参し**、会場では首から下げるなど見える位置に必ず携帯してください。
- (2) 「ADカード」を紛失および忘れた場合は大会受付にて再発行を受けてください。再発行料として 500 円が必要です。なお、開場時にお忘れの場合、ADカード再発行にお時間をいただきますのでご了承ください。
 - ※ 各チームへ「チーム責任者ADカード」を 1 枚送付します（6 名以上はサブ責任者ADカードも 1 枚送付）。会場への来場はチーム責任者ADカードをお持ちの方に限ります。
 - ※ チーム責任者は、18 歳以上のチーム関係者に限ります。競技会当日に主催者とチームの窓口となれる方としてください。
 - ※ エントリー時に介助者の申請のあったチームには「介助者ADカード」を送付します。障がいをお持ちの方などの介助者として同行できるのは介助者ADカードをお持ちの方に限ります。スタート席まで介助者の同行を希望の方は、出場申告用紙にご記入の上、リゾリューションデスクへ提出してください。ただし、招集席からスタート席まで同行することはできませんが、スタート台への介助はできません（台上に上がる際に補助をすること、一緒に水中に入ることは不可）。エントリー時に付添者の申請をお忘れの方は、早急にメールにて出場申告用紙に記載の上、実行委員会宛に連絡してください。
- (3) ADカードが写真撮影許可証を兼ねています。必ず見える位置に携帯してください。
- (4) 応援者の AD カードは競技会当日に大会入場口にて「応援者 AD カード申請用紙」を提出して、「応援者 AD カード」と引き換えてください。

6. 会場入退館・階段利用方法

- (1) 入場時、入場口にてADカードおもて面を提示し入場します。
- (2) プログラム（予約分）・参加賞は下記の手順で、大会期間中にお引き換えください。大会終了後や引換券がない場合は受け取れません。
 - ① 参加賞（当日に限る）
参加選手は、入場後、参加賞引換所にてQRコードをかざしてお受け取りください。（1 人 1 回）棄権者のADカードをお持ちいただければ参加賞をお渡しします。
 - ② プログラム（予約分）
「プログラム引換券」は予約冊数分の枚数を送付します。購入者本人または代表者 1 名がまとめて大会受付に提出し、お引き換えください。
- (3) 再入場にはADカードが必要となりますので、必ずお持ちのうえ外出してください。
- (4) 南側観覧席へは、外側からではなく、北側より会場内へ入場後、右側通路突き当たりドアより出て、南側へ移動またはプールサイドより南側へ移動してください。
- (5) 観覧席よりプールサイドへ下りる両サイドの階段はご利用いただけますが、南側中央の招集待機所へ下りる階段は利用できません。プールサイドは土足厳禁の為、必ず靴を脱いでご利用ください。脱いだ靴は置きっぱなしにせず、必ず持って移動してください。
- (6) 北側 2 階大会受付横の階段より、1 階更衣室への移動が可能です。ただし、水着姿のまま利用することのないようお願いいたします。更衣室内は土足で利用することのないようお願いいたします。

7. 競技方法

- (1) 本大会は（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り行います。
- (2) 競技は、全て男女別（混合リレーを除く）・年齢区分別のタイムレース決勝とします。
25m・50m・100mの個人種目およびリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い、高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。但し、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う場合もあります。その他の 200mの個人種目は、年齢区分に関わりなく、男女別・エントリータイム順に組み分けを行い、遅い組から速い組への順で行います。

男女4×200m フリーリレーは合同で行います。

- (3) バックプレート付スタート台ならびにバックストロークレッジを使用します。バックプレートならびにバックストロークレッジの調整は、レーンに入った後、速やかに行ってください。また、バックストロークレッジを使用しない場合は、折返監察員に申し出てください。
- (4) 個人種目は10レーン。リレー種目は8レーンで競技を行います。
- (5) メインプールの水深は2mです。各レーンへの水深台の設置はありませんのでご注意ください。

＜ 水着の規定 ＞

- (1) (一社)日本マスタース水泳協会が公表している水着規定（水着の取り扱いについて）に準じます。※最近セパレートの水着姿が見受けられますが、競技では使用できません。
- (2) マスタース水泳では、ウェアや水着への商業ロゴマーク等の規定はありません。
- (3) 日本新記録・世界新記録の公認には、WORLD AQUATICS 承認水着の着用が必要です。
- (4) ネックレス、ブレスレットおよび鼻栓は使用・着用できますが、パワーバンドと判断されるもの（ファイテンやパワーバランス）は使用・着用できません。また、デザイン等で危険が想定される装飾品（石が付いているものなど）については安全上の理由で使用を控えてください。

＜ スタート ＞

- (1) スタートは、25m 種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) マスタース水泳のスタートでは背泳ぎ・メドレーリレー以外の種目は、「スタート台上・プールデッキ・水中から」の3つの方法からスタートすることができます。はじめて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお願いします。
- (3) メインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに用意されている「水浴び用バケツ」を使用してください。
- (4) バックストロークレッジについて
 - ① バックストロークレッジは、背泳ぎ種目およびメドレー種目の背泳ぎにおいて使用できます。選手席に入場したら、折返監察員がバックストロークレッジのレベルを0に調整後、ただちに高さ調整を行ってください。
 - ② 折返監察員がバックストロークレッジを上げる前に調整するとレベルを0に戻されている場合がありますのでご注意ください。（開始前に折返監察員がレベルを0に戻します）
 - ③ バックストロークレッジを使用しない場合は入場後速やかに、折返監察員に「使用しない」と申し出て、レッジを上げてもらってください。
- (5) 最終チェックとして入水前にご自身でバックストロークレッジの装着確認を行ってください。使用するのに設置されていない場合は、入水前に速やかに折返監察員に伝えてください。

＜ プールからの退水について ＞

- (1) 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないように注意し、横から退水してください。ゴール後は、個人種目は25m種目を除き、**タッチ板に触れないよう**退水する側のレーンロープにつかまり水中で待機、次の組がスタートしてから**タッチ板に触れないよう**退水してください。
- (2) 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないよう競技役員の指示に従い、速やかに横へ移動し退水してください。
- (3) 0～4レーンの泳者は0レーン側、5～9レーンの泳者は9レーン側へ移動して退水してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- (4) リレー種目は各泳者ゴール後、速やかに退水してください。退水は自レーンからの退水が可能です。**他のレーンを横断する際は、タッチ板に触れず、そのレーンの選手の妨害をしないよう十分注意してください。**役員から指示があれば従ってください。
※退水の際、タッチ板に触れると記録が止まってしまうので、タッチ板に触れないよう離れて移動してください。
- (5) 退水後、荷物を取る際には、他の人の荷物と取り間違えないようにご注意ください。
特に25m種目終了後にADカードの取り間違いが多く発生します。必ず氏名をご確認ください。

8. ウォーミングアップ

大会期間中のウォーミングアップ・スタート練習の時間は下表のとおりです。

	ウォーミングアップ	公式スタート練習
メインプール 水深 2m	8:00 ~ 9:15 ダッシュ専用: 8・9レーン	8:55 ~ 9:15 全レーン
アッププール 水深 1.7m	8:00 ~ 競技終了 ダッシュ専用: 2レーンあり	

- ※ 安全上、パドル・フィン・キックボード・シュノーケル等の用具の使用は禁止します。
- ※ メインプールのダッシュレーンならびに公式スタート練習は、スタート側から折り返し側への一方通行とします。指定レーン変更の場合は、当日通告より発表します。なお、公式スタート練習はスタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
アッププールのダッシュレーンは南側から北側への一方通行とします。
- ※ 公式スタート練習の順番を待つ際は、間隔を空けて整列するようお願いいたします。

9. 招 集

- (1) 招集は9レーン側（南側）プールサイドで行います。ADカードをお持ちのうえ、お越しく下さい。招集所周辺は混み合いますので、招集所へは、自身の出場する種目・組の 6 組前まで（25m種目は 8 組前まで）を目安にお越しく下さい。混雑を避けるため、指定組数より早く集まることはお控えください。最初の種目の招集は 9:15 より開始します。
- (2) 早く集まり、待機される方は招集待機室をご利用ください。
- (3) 招集では、以下の手順で受け付けをします。
 - ① 「種目名・組・選手名」がスクリーンに表示されます。
 - ② 自身の出場する組が表示されたら直ちに招集員にADカードを提示し、QRコードをかざして出場チェックを受けてください。
 - ③ 水着の確認を受けて、指示に従い並んでください。
 - ※ 組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となりますので、忘れないようにご注意ください。
- (4) 出場チェックを済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (5) 25m種目出場者は、脱衣箱が使いません。荷物は最小限でお願いします。

招集受付ではADカードの表面QRコードをかざして受け付けします。招集コールがありましたら、必ず自分の組で受け付けを行ってください。（組が違くとQRを読み取れず棄権扱いとなります）リレーは4名揃っていない場合は入場できません。

c.

招集前に確認ポイント

- ① ADカードはありますか？
- ② 水着の規定に反していませんか？セパレート水着・水着の重ね着は大丈夫ですか？
- ③ 時計はつけていませんか？必要のないものは外しましょう。
- ④ 体にテープは貼っていませんか？ケガなどで申請すれば認められることもありますが、基本認められません。外してから招集所へ向かいましょう。
- ⑤ できるだけ荷物は必要最低限にしましょう。盗難等の危険もあるため、荷物を預けられない方は貴重品ロッカーを借りることをお勧めします。特に更衣室内での荷物放置が一番危険ですので置きっぱなしにすることのないようにしましょう。

10. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更するリレー出場チームは、競技当日にチーム責任者またはリレーチームの代表者が、締切時間（P3 参照）までにリゾリューションデスクへ「リレーオーダー変更届」をご提出ください。
 - ※ 変更は、競技当日に限り締切時間内に 1 回のみとなります。締め切り後の変更は認められません。
 - ※ 種目、年齢区分の変更はできません。
 - ※ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず 1 人 1 回しか出場できません。
- (2) 招集所へは、「ADカード」をお持ちのうえ 4 名揃ってご集合ください。4 名揃わないと招集を受けることができません。
- (3) 第 2 泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、P9「12. 申告(4)」に従い、リゾリューションデスクへ申告してください。

11. 表 彰・記 録

- (1) 公認された記録は、（一社）日本マスタース水泳協会ホームページより会員ログインし、チーム責任者または選手本人が公認記録証として出力できます。
- (2) 各種目・各年齢区分の個人種目 1～3 位、リレー種目 1～3 位に賞状を授与します。ランキング発表後、表彰所にてADカードを提示してお受け取りください。
- (3) 男女別・年齢区分別ランキングを各種目終了時にマスターススイムミートホームページにて発表します。ADカードうら面に記載のQRコードを読み取ればご覧いただけます。
- (4) マスタース水泳日本記録ならびに世界記録樹立者には、プールサイドにて表彰式を行い、日本新記録証ならびに世界新記録証を授与します。また、ミズノ株式会社様ならび株式会社ヒカリスports様より記念品が贈られます。日本記録の表彰は競技終了後、随時表彰ボード前で行います。世界記録表彰は表彰時間に行います。新記録樹立後に競技役員よりご案内します。
- (5) 日本記録・世界記録樹立者は泳者の生年月日を証明する書類※のコピーが必要になりますのでご用意ください。なお、過去（2012 年以降）に日本記録・世界記録を樹立し、（一社）日本マスタース水泳協会へ提出履歴のある方は不要です。（読み取りの関係で必要な場合もあり）
 - ※ 世界記録：パスポート、住民票（3 ヶ月以内のもの）
 - ※ 日本記録：パスポート、運転免許証、マイナンバーカード、住民票（3 ヶ月以内のもの）

12. 申 告/ 抗 議

以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の 1 時間前までにリゾリューションデスクへご申告ください。お申し込み時に申告された方で当日再確認が必要であると連絡を受けている方もリゾリューションデスクへお越しください。

- (1) テープ等をされる方
提出書類：出場申告用紙 ＜審判長の確認が必要です＞
 - ※ ケガによって必要な場合、審判長の許可があれば 1 本または 2 本の手の指、足の指へのテープが認められます。必要な場合は必ず申告してください。
 - ※ その他のテープ等は、競技規則上認められません。やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は、使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリューションへお越しください（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は許可できません）。
- (2) 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
提出書類：出場申告用紙 ＜審判長の確認が必要です＞
 - ※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- (3) 出場に介助が必要な方
提出書類：出場申告用紙
 - ※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできませんが、スタートの介助はできません（台上に上がる際に補助をすること、一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

(4) リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

提出書類：出場申告用紙

※ 申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。

※ 世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を樹立しても世界新記録の公認はされません。挑戦するチームの第2泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートしてください。

(5) 世界記録挑戦時にレース中の挑戦コールを希望する方およびチーム

提出書類：世界記録申請用紙

※ リレーの第1泳者として挑戦される方が挑戦コールを希望される場合もご申告ください。

＜抗議について＞

次の場合、競技に関する抗議ができます。

- ① 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。
- ② 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。
- ③ 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。

抗議は、抗議書を提出しなければなりません。抗議書の提出は、（一社）日本マスタース水泳協会へ登録しているチーム責任者が行ってください。

チーム責任者以外は抗議できません。

競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出してください。

競技の失格内容や状況等についての抗議は、ランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料として預かり金50,000 円を添えてリゾリューションデスクに提出してください。

提出された抗議書は審判長が検討し、抗議を棄却した場合は、審判長が口頭で説明します。

審判長の下した判断に不服がある場合は、大会総務に申し立てをすることができます。

審判長の判断に異議がない場合、預かり金は、主催団体に徴収されます。

大会総務は、抗議書の内容を踏まえて、関係した担当者等から聞き取りをした上で最終的な裁定を行います。大会総務が下した裁定は、最終のものとなり、裁定結果はチーム責任者に対して説明されます。

抗議が受理された場合、従前の審判長判断は取り消され、預かり金は返却されます。抗議が棄却された場合、預かり金は主催団体に徴収されます。

大会総務において裁定された結果は最終的な裁定である為、異議は認められません。

※ チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用できかねます。

13. 施設使用上の注意

- (1) 会場内の動線・使用禁止エリアなどのルールを守ってご利用ください。
- (2) プールサイドならびに更衣室は履物厳禁です。履物は各自で袋などに入れお持ちください。また、プールサイドは濡れると滑りやすくなるため足元には十分ご注意ください。
- (3) プールサイドでの観覧はできません。ウォーミングアップやレース終了後は速やかにプールサイドより退出してください。
- (4) 飲食は、観覧席・ロビーでお願いします。
- (5) ごみは各自でお持ち帰りください。
- (6) 会場内での盗難等については一切責任を負えません。
- (7) 下記のことは禁止します。
 - ① 火気の使用
 - ② 喫煙（敷地内禁煙）
 - ③ 会場内外でのテープ類、くぎ、画びょう等の使用
 - ④ ビン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
 - ⑤ 会場内電源を使用しての電気機器の充電・使用

※ その他、参加者や施設等に迷惑がかかる行為は絶対にしないでください。

< 入場待機列について >

同一チーム内であっても待機列への途中合流はおやめください。到着後の整列時に不在の方は、必ず列の最後尾に回ってください。

< 観覧席・控え場所の利用について >

- (1) **観覧席前列や階段で立ち止まってる観覧・応援はおやめください。(立見禁止)**
- (2) 観覧席は譲り合ってご利用ください。場所取り（イスの確保）は禁止とします。
イスの上に「チーム名入りの紙」「小荷物」等を置いている場合は、場所取りと判断し、競技役員がお声掛けしますので指示に従ってください。
- (3) チーム旗の掲出は可能です。（のぼりやポールの使用は不可）
- (4) 敷物は南側観覧席上段通路敷物可能エリアにて使用を許可します。ただし、選手等の通路としての妨げにならないように各チームで譲り合ってご利用ください。非常口や導線の確保にご協力ください。妨げになる場合は、撤去する場合があります。

< 更衣室の利用について >

- (1) 更衣室のロッカーは使用禁止です。使用される際は有料ロッカー使用の手続きをしてください。不正使用しロッカーが開かなくなった場合、大会終了後に対応します。予めご了承ください。
- (2) 更衣は必ず更衣室で行ってください。また、プールサイド・更衣室以外を水着で通行することとはご遠慮ください。
- (3) 更衣室は（競技プール更衣室）、観客席北側の下にあります。更衣室へは、観覧席4ヶ所（会場図参照）の階段よりプールサイドへ降りて、更衣室出入口へ進んでください。更衣室へ直接行かれる方は、北側、大会受付横の階段をご利用いただけます。
- (4) 開門から9時30分まで、サブプール用の更衣室を開放します。ただし、ロッカー使用と荷物等置くことは禁止いたします。9時30分以降にサブプール更衣室に放置されている荷物は、別の場所へ移動させていただきますので予めご承知おきください。
- (5) 更衣後の荷物は更衣室内に置かず、各自またはチームで管理してください。長時間置かれていた荷物は競技役員が撤去します。
- (6) 更衣室のロッカーは、数に限りがあるため、使用禁止とします。更衣後の荷物等は各自で管理をお願いします。使用する方は有料個人ロッカーの手続きをし、ご利用ください。
- (7) プールサイド、更衣室は、履物厳禁です。また、プールサイドでの水分補給はできますが、食事はできません。
- (8) 館内の通路はぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。

< 貴重品の管理について >

貴重品は、個人またはチームで管理してください。盗難等がございまして一切責任は負えません。個人でロッカーの使用を希望される方は有料（500 円）にて大会用更衣室内ロッカーを貸出します。希望者は別紙「有料個人ロッカー申請書」にご記入いただき、大会受付にて手続きをお願いします。数に限りがありますので予めご承知おきください。

< カメラ・ビデオ・携帯電話等での撮影許可について >

観覧席での撮影は自由としますが、競技役員より指示を受けた場合はその指示に従ってください。プールサイドでの撮影はできませんので予めご承知おきください。また不審な人物を確認した場合は、競技役員へお知らせください。

14. 健康管理

- (1) 大会期間中の健康管理は本人の責任とし、自身の体調には十分留意してください。
水分不足には特に注意し、こまめに水分補給をしてください。
- (2) 会場内で体調不良や怪我をした場合は、医務室にて応急処置を行います。（1 階医務室）
- (3) 当日、自身の体調に不安を感じたときには来場をお控えください。到着後に体調に不安を感じることがないように、来場前の判断は慎重をお願いします。
- (4) マスターズ水泳キーワード 9 の実践をお願いします。

- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止を勧告された場合は、その指示に従ってください。
- (6) 万ーに備え、保険証のコピーをご持参ください。

マスターズ水泳キーワード9

マ	マイペースゆうゆう大きなストローク
ス	進んで受けようメディカルチェック
タ	タイムより楽しい水泳健康づくり
ー	(ア)頭を使って泳ぎの工夫
ズ	ずっと前の若さと力あてにせず
す	睡眠食欲体調チェック
い	いつも練習あってこそ楽しいレース
え	エイここで退く勇気が大人の水泳
い	いい笑顔気力も充実輝く高年

13. その他

- (1) プログラムは 1,500 円で販売します。
- (2) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は大会受付にて保管しています。大会終了後 1 週間で廃棄処分します。衛生上の問題で当日処分させていただくものもあります。
- (3) お申し込み時および AD カードに記載の大会当日緊急時の連絡先は、事故・怪我の発生など万ーの際に実行委員会で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
- ・ 責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握しお持ちください。
 - ・ 責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時に選手のご家族に連絡がとれるよう準備してください。
- (5) 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (6) 私的営業活動の停止
大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (7) 不可抗力による中止の際の対応
大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞」「プログラム（申し込み分）」はチームへお渡ししますが、申込料は返金できません。
- (8) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて
本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。
- ＜個人情報＞
プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
競技結果としてホームページ等の媒体に掲載します。
- ＜肖像＞
大会報告としてホームページ等の媒体に使用します。
以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は、主管および日本マスターズ水泳協会に帰属します。
競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の WEB サイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。なお、会場 BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。
- (8) 当日の棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入のうえ、リゾリューションデスクに提出してください。プールサイドでの撮影は禁止とします。不審な人物を確認した場合は、競技役員へお知らせください。

大会出場にあたっての注意

今回、921名の参加があり、競技の進行を速やかに行い、少しでも競技時間を短縮するために、以下の事項について参加チーム及び選手の方にご理解とご協力をお願いします。

- 1) 「最終のご案内」(2次要項)を充分ご理解のうえ、ご参加ください。特に、リレーオーダーの変更締め切り時間など厳守願います。締め切り後の受け付けは一切行いません。
- 2) 競技の進行は、オンタイムで行いますが、予定時間より早くなる場合がありますので、招集には遅れないようご注意ください。招集に遅れますと棄権として扱いますので、くれぐれもご注意ください。ただし、混雑を防ぐため、あまり早く来すぎることをのらないようお願いします。
- 3) レース終了後(25m種目以外)、自分のレーンでレーンロープにつかまり次の組がスタートしてからタッチ板に触れないように気をつけて、両サイドからプールサイドへお上がりください。なお、この際、役員の指示を最優先として従ってください。ゴール後速やかに退水を行っていただく場合もあります。25m種目はゴール後、競技役員の指示に従い速やかに退水してください。
- 4) 本大会は『ADカード』のない方は入場できません。入場の際は『ADカード』の提示が必要です。忘れないようご注意ください。
 - ① 入場時はADカードおもて面を提示しご入場いただきます。再入場時も同様です。
 - ② ADカードは会場内でもホルダーなどに入れ、必ず首からかけるなど見える位置にお付けください。
 - ③ ADカードの両面が確認できるよう、ホルダー内に不要なものは入れないようご注意ください。ADカードを紛失および忘れた場合は、リソリューションデスクにて再発行をうけてください。再発行には、500円が必要となります。
- 5) 不法駐車で会場及び近隣の方に迷惑をかけています。車での来場は禁止です。
- 6) 大会中に出了たごみは各自でお持ち帰りください。帰る際に会場付近(駅など)で捨てることをのらないようお願いします。
- 7) プールサイド、更衣室は土足禁止です。素足でご利用ください。階段下等に靴を置くことの無いようお願いします。
- 8) 競技役員は各チームよりボランティア役員のご協力いただいております。競技役員から指示があった場合、速やかに従い行動していただきますようお願いします。
- 9) マスターズ水泳大会での盗難事故が多くなっております。特に朝のウォーミングアップ中の被害が多くプールサイドや観覧席の椅子の上などに貴重品を入れた袋を放置しないでください。ほんの一瞬目を放した際に被害に遭った方もいらっしゃいます。できるだけ高額なものはお持ちにならないようお願いします。

※ 個人で使用いただけるよう有料(500円)にて更衣室内ロッカーがございますのでご利用ください。特に、お一人で参加の方はご利用ください。
- 10) 25m種目、リレー種目の際招集所へは大きな荷物を持ち込まないようお願いします。

くご注意ください・・・良くある失格の例>

- ※ 25m種目、50m種目で、自分の組を間違って泳ぎ失格になることが多くあります。レース前に自分の組とレーンを確認の上、レース前にくれぐれも間違いのないようにしてください。
- ※ リレー種目の際はADカードをお持ちの上、必ず4名揃ってお越しください。4名が揃わなければ招集を通れないので、出場できなかったというケースがよくあります。